いしかわ労福協

第 494 号　2009年3月31日

発 行 所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　上田弘志
編 集 人　綿 征一
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定　価　一部 20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

石川労福協

「第32回研究集会」「第5回ライフ・サポートセンター代表者会議」

暮らしの総合サポートセンターを充実

石川県労働者福祉協議会の「第32回研究集会」と「第５回ライフ・サポートセンター代表者会議」が２月27日(金)フレンドパーク石川で開催された。

集会には、事業団体やライフ・サポートセンター（LSC）、連合石川、退職者連合の役職員ら115名が出席。昨年同様、研究集会と代表者会議を同時に開催。内容は2009年度石川労福協の課題についてやＬＳＣ活動計画・予算についての説明、全労済石川県本部からの報告と要請、田村正勝早稲田大学社会科学部教授の基調講演の４本立とした。

上田理事長

才田専務理事

綿常務理事

水野全労済専務理事

研究集会の冒頭、主催者を代表し上田弘志理事長が「７年目に入るLSCは、各事業団体を地域で支える諸活動を展開し、ワンストップ･サービスを提供する拠点として取り組む」と述べ、「石川労福協の『福祉なんでも相談』と連合石川の『何でも労働相談』、無料職業紹介所『ジョブいしかわ』と連合石川『非正規労働センター』が連携し、県民や勤労者に頼られる『暮らしの総合サポートセンター』と位置づけたい」と方向を示した。また、緊サポ事業は基盤整備事業として２年間延長したことについて、「今後、新たな観点に立ち、これからも子育て支援に力を注ぐ」と挨拶した。

引き続き、才田巖専務理事が2009年度石川労福協の重点課題について説明し、LSC設立から取り組んできた各種活動を評価した後、『緊急サポートネットワーク事業』の廃止に対して厚労省への対応･経過と今後の事業運営の基本的な考え方(別掲)を報告。また、『ジョブいしかわ』について「相談体制を強化し、一人でも多く就職が出来るように取り組む」と説明した。

次に、綿征一常務理事が2009年度LSC活動計画･予算についてと来年度のグラウンド･ゴルフ中央大会、退職前セミナーの開催内容や労金･全労済の支援活動、県LSCの予算･地域LSC交付金等を提起。事業団体報告として水野志郎全労済石川県本部専務理事が、今年４月の生協法改正に伴い、各地域LSC労済部会委員の見直しを図ること等を説明した。

全体の質疑では、地域LSCの全労済への関わり方について多くの質問が出され、総会までに全地域でオルグを行うこととした。

基調講演の田村正勝教授

休憩後、「どうする！どうなる？日本丸」と題し、早稲田大学社会科学部教授で経済学博士の田村正勝氏が基調講演。現在の世界的不況の要因や日本のサラリーマン報酬総額を過去と比較、ワーキング･プアの増大と格差の拡大を数字で示し「近代化がもたらした自然･地域共同体･精神文化の破壊に対し、精神的抑圧･貧困･政治的社会的抑圧から解放されるべき」と力説。自然･人権および社会環境の保護と市民運動の国際化、コミュニティ再生などの必要性を強調した。また、成熟した経済の下では、経済成長を求めると犠牲を伴うとし「過剰設

＝次ページへ

備投資は過当競争･低生産性･長時間労働となる。また、過剰生産･過剰輸出は円高･過剰マネー→バブル経済→繁盛貧乏不況･空洞化経済→金融不安不況へと進む」と解説。日本の自殺者が98年から年間３万人超えが続く現状に対し「公助･共助･自助の生かされる社会、ゆとり･公正･連帯の三位一体の社会を構築すべき」と訴えた。そして、長寿社会では「Ｐ・Ｐ・Ｐ(ピン・ピン・ポックリ)が一番」と結んだ。

最後に、橋本和雄副理事長の閉会挨拶で研究集会・代表者会議を終了した。

橋本副理事長

子育て支援・いしかわ緊急サポートネットワーク

１．今後の事業運営の基本的な考え方

①「緊急サポート事業をファミリーサポート事業(ファミサポ)に合体することで緊サポ事業を廃止する」との厚労省の方針は変わりません。従って向こう２年間を各自治体の体制が整うまでの暫定措置とします。
②石川労福協として、厚労省に求めてきた「スムーズな移行に向けた準備期間」と捉え、引き続き平成21年度の事業受託を申請します。
③平成21年度委託費は現行の３割減(約700万円)であることから、新たな観点に立って総合的に見直します。

２．平成21年度以降の事業運営体制について

①向こう２年間の限定事業は、ファミサポへの移行準備期間と位置付けます。
②緊サポ事業をファミサポで実施する自治体については、厚労省の交付金が上積みされることから、該当する緊急サポートの地域センターを順次廃止します。
③ファミサポ設置の自治体居住の会員には、ファミサポの周知を行い、加入･登録を勧奨します。また、自治体に対して受け入れ体制の準備を要請します。
④ファミサポ未設置の自治体に対しては、緊急サポート会員の受け皿作り、子育て支援施策の実施を要請します。
⑤委託費の減少に伴い、現在の事業状況(会員数、利用件数等)の実態をふまえ、事業運営体制を見直します。

３．具体的な見直し課題

①地域センター組織と機能の見直し
ⅰ.「かがセンター」を廃止し、平成21年度は、県センターと８地域センターとします。かがセンターの全会員に対してファミサポへの移行を周知し、ファミサポへの登録替えを要請します。
ⅱ. 市町別の会員数および利用件数の実績、実態をふまえて県センターと地域センターの機能、役割を見直します。

＜県センター＞
・アドバイザーを配置し、かなざわセンターを除く、７センターのコーディネート業務をアドバイザーが兼務します。
＜地域センター＞
・会員数および利用件数が多い「かなざわセンター」は従来通りとし、コーディネート業務を担当します。
・かなざわセンターを除く「７センター」は、コーディネート業務は行わず、利用問い合わせ、会員募集と地域センター会員交流会等を中心に活動します。

第1回LSC幹部研修会

ライフ・サポートセンター(LSC)結成以来、最初の「第１回LSC幹部研修会」を２月16日(月)和倉温泉「のと楽」で開催。９地域LSCの会長･事務局長と北陸労金、全労済、労福協役員ら27名が出席し、「LSC設立から６年間を振り返り、これからの地域LSC活動はどうあるべきか」をテーマに意見交換した。

冒頭、主催者を代表し上田弘志理事長がこれまでの各地域での活動に感謝の意を表して「県労福協の『ジョブいしかわ』と連合石川の『非正規労働センター』が連携し、県内の労働者の悩み相談や就業支援に当たる活動は、LSC活動の重要な柱」と挨拶した。

河北LSC前後会長

加賀LSC中川会長

研修会では、参加者に対しLSCの活動状況や今後の課題について、事前にアンケートを実施。代表して、加賀地域LSCの中川貢会長と河北地域LSCの前後和雄会長が報告。谷内英明LSC事務局次長がアンケート集約結果を説明し、全体討議に入った。

上田理事長、橋本和雄副理事長、水野志郎全労済県本部専務理事、山口隆北陸労働金庫県本部部長をパネラーとし、労福協の才田巖専務理事がコーディネーター、綿征一常務理事を司会者として進められ、熱心に討議した。

主な内容は、LSCのＰＲの方法や退職者と現役労働者の連携、LSC行事の参加者を増やす方法、LSCと地協との関係、地協再編や労金統合の課題、労金や全労済等への協力の方法、緊サポの課題、全労済地区運営委員の問題点等が出され、それぞれの質問・意見に対し、各パネラーとコーディネーターが答え議論を深めた。

最後に、橋本副理事長が研修会の総括をし、予定時間を大幅に超過し終了した。

県LSC事務局次長　一明政行

石川労福協第6回理事会

県労福協の第６回理事会が2月24日(火)、フレンドパーク石川で開かれ、緊急サポートネットワーク事業の今後の運営についてや第47回石川労福協通常総会を５月29日(金)に開催すること、2009年度の活動方針(案)、予算(案)の骨子について協議した。

また、事業団体の役員候補者の選考についてや緊急サポートネットワーク事業、ライフ・サポートセンターの活動、第32回石川労福協研究集会の開催、2008年度労働者福祉基金管理委員会の開催、．就業支援「ジョブいしかわ」の取り組みについても話し合った。

2009年度活動方針の骨子は「暮らしの総合サポートセンター」の充実とし、具体的には、子育て支援を継続し『いしかわ緊急サポートネットワーク事業』を病児･緊急預かり対応基盤整備事業とする。また、『福祉なんでも相談』、就業支援・無料職業紹介所『ジョブいしかわ』、『石川県勤労者互助会』の活動を展開。その他、政策制度要求の実現、自治体要請行動の展開、労福協構成団体･各友誼団体･中央地方労福協との連携、広報宣伝･研修活動･国際交流の取り組み、石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)の運営等が提案された。

なお、次回理事会を４月24日(金)13時30分からフレンドパーク石川で開催する事を決め閉会した。

事務局日誌

<2月>

26(木)	労金金沢西支店事務担当者研修会	労済会館
27(金)	第32回石川労福協研究集会	フレンドパーク石川
〃	第5回LSC代表者会議	フレンドパーク石川
28(土)	緊急サポートフォローアップ研修会	フレンドパーク石川

<3月>

3(火)	事務局会議	フレンドパーク石川
5(木)	キャリアコンサルタント研修会(～6日)	東京都
〃	社会法律センター第31回定期総会	北陸会館
11(水)	消団連北陸農政局との意見交換会	文教会館
12(木)	第3回地方労福協会議（～13日）	京都市
〃	中部会館協第3回幹事会（～13日）	金沢市
13(金)	職業紹介事業研修会	労働局
16(月)	石川労福協第1回人事委員会	連合石川
18(水)	緊サポ・第8回ネットワーク会議	フレンドパーク石川
〃	第80回石川県統一メーデー第1回常任実行委員会	フレンドパーク石川
〃	新公益法人相談会	県庁
22(日)	蘇州市総工会「第11次業務考察訪日団」～27日(金)	石川県･東京都･京都市
25(水)	ろうきん運動推進委員合同会議	金沢都ホテル
26(木)	労信協第8回理事会	フレンドパーク石川
30(月)	北陸労金と3県連合・労福協連絡会議	加賀市

第80回石川県統一メーデー 金沢中央大会は5月1日㈮開催

「第80回石川県統一メーデー」の第１回常任実行委員会が3月18日(水)、フレンドパーク石川で開かれ、実行委員会の構成や具体的な取り組み、メーデー協賛行事、予算などについて協議した。

開催日については、「東京・中央大会」は４月29日(祝)に実施するが、「金沢・中央大会」は従来どおり５月１日(金)に開催決定。県内各地区メーデーも１日に集中開催の予定。

金沢中央大会では例年どおり、記念式典やアトラクション、アピールコーナー、プラカード・デコレーションコンクール、パレード行進を行う。

メーデー協賛行事

第18回ボウリング大会
日　時　４月29日(祝)
場　所　ジャンボボール

第43回勤労者春季ロードレース
日　時　５月１日(金)午前９時30分頃スタート
場　所　金沢市･中央公園～錦町～厚生年金会館

第９回グラウンドゴルフ大会
日　時　５月19日(火)９時開会式
場　所　金沢市･大和町広場

第８回勤労者綱引競技大会
日　時　５月24日(日)９時開会式
場　所　金沢市城西体育館

第15回囲碁･将棋大会
日　時　６月27日(土)９時開会式
場　所　フレンドパーク石川

第20回ふれあいチャリティゴルフ大会
日　時　５月26日(火)８時より順次スタート
場　所　小松市･ツインフィールズ

第41回石川県勤労者写真サロン･フローラルアート展
期　間　６月４日(木)～８月９日(日)
場　所　金沢･珠洲･美川･根上･加賀･七尾･輪島･小松･松任の９会場

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

第8回ネットワーク会議を開催

いしかわ緊急サポートネットワークの「第８回ネットワーク会議」が３月18日(水)、フレンドパーク石川で開かれ、ネットワーク構成団体の石川県、石川労働局(欠)、金沢市、小松市(欠)、いしかわ子育て支援財団、連合石川(欠)、県退職者連合、県経営者協会、県社会福祉協議会、日本助産師会県支部(欠)、県看護協会、事務局(労福協、県ＬＳＣ)の13名が出席した。

会議では、主催者で県労福協の上田弘志理事長が「昨年９月、厚労省の緊サポ事業廃止連絡を受けた以降、事務局の努力で２年間継続実施となった。今後、スムーズに各自治体に移行するよう努めたい」と挨拶。全員自己紹介の後、直江圭祐緊急サポート県センターアドバイザーより平成20年度事業報告を、才田巖専務理事が病児･緊急預かり対応基盤整備事業と平成21年度活動計画を提案した。

事業報告では、２月末現在で利用会員519名、サポート会員202名。今年度の利用回数908件(月平均82.5件)、預かった子どもの人数1,007人(月平均91.5人)と報告。主な活動計画は、ネットワーク会議の構成団体メンバーを見直すとともに、各自治体ファミリーサポート担当者との連絡会を設置し、移行への条件整備と情報交換を行うこととした。

サポート会員フォローアップ研修会

いしかわ緊急サポート県センターは、２月28(土)午前９時半より、フレンドパーク石川で本年度２回目の「サポート会員フォローアップ研修会」を開催。41名の参加者は、熱心に講師の話に耳を傾け理解を深めた。

研修会の冒頭、才田巖労福協専務理事は挨拶の中で、厚生労働省からの緊サポ事業の廃止に触れ、「向こう２年間の時限措置が講じられ、引き続き事業を続けていくのでご協力を」と報告した。

講義Ｉは、石川県立看護大学で母性小児看護学講座を行っている堅田智香子氏が「子ども感染症」についてを詳しく説明。特に、感染症では手洗いやマスク、消毒で自分の身を守ることも大切であると教えた。

講義IIでは、金沢市こども福祉課の矢田博子主任主事が金沢市が現在取り組んでいる「ファミリーサポート」の現況を説明し、それぞれ意見を交換し終了した。

緊サポアドバイザー　直江圭祐

会員募集状況／サポート状況

1月31日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	9	19 (+4)
わじま	2	10	7 0
ななお	6	4	0 0
はくい	2	5	0 0
かほく	15	54	83 (+21)
かなざわ	122 (+1)	329 (+18)	578 (+55)
はくさん	28	70	94 (+5)
こまつ・のみ	18	34	39 (+3)
かが	3	4	0 0
計	202 (+1)	519 (+18)	820 (+88)

(　)は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

事業団体支援活動(チラシ宅配)

県ライフ・サポートセンター(LSC)は、今年度の活動計画に基づき、事業団体を地域から支える諸活動として、労金・全労済のチラシ宅配活動を要請した。

1.実施時期

(1)県下一斉統一行動日の設置
　※2009年３月14日(土)を基本とする。
(2)上記の日程で不可能な地域は､3月31日までに実施する。

2.宅配地域

(1)新興住宅地を優先する。
(2)具体的な配布域は各地域センターで決める。

3.チラシ内容

(1)北陸労働金庫・・・生活応援・金利見直し運動
(2)全労済・・・・・・火災共済プラス自然災害共済

4.配布部数

(1)役員１人50枚～100枚を目途に配布する。
(2)県下全体で10,000世帯を目途に配布する。

社会法律センター第31回定期総会
法曹団に「北尾美帆弁護士」加わる

北尾美帆弁護士

社会法律センターの第31回定期総会が３月５日(木)18時より、北陸会館で各団体の代表者64名が参加し開催された。

開会にあたり、北尾強也理事長が「当センターは、30年前に県評の活動家とともに、組合員１人当り年会費100円を集め発足した」と開設時の経緯を述べ「設立時の目的である、憲法を擁護する精神を受け継いでいきたい」と挨拶。宮下登詩子氏、柚木光氏、桑原豊氏がそれぞれ来賓挨拶した。

続いて、岩淵正明弁護士が経過報告および活動計画を提案し、全議案を承認した。また、役員改選では、北尾美帆弁護士が理事に加わり弁護士15名の体制となった。

総会後の記念講演では、岩淵正明弁護士が「労働者派遣法の現状と問題点」と題し、派遣法の設立時から経過を含め解説した。派遣法のあるべき改正点として①均等待遇の原則(派遣労働者と正規労働者の均等待遇)・②登録型の廃止・③常用の有期反復型の廃止・④みなし規定の制定(違法の場合は直接雇用とみなす)が必要と力説した。

県LSC事務局次長　一明政行

県消団連「第2回消費者学校」
社会保障制度について学習

山口聡氏

県消団連の「2008年度第２回消費者学校」が２月23(月)、金沢市の労済会館で生協連や労福協、連合石川など、構成団体より50名が参加し開催された。

谷内英明LSC事務局次長の司会で始まり、田上照夫代表幹事が開会挨拶した後、「情けは人のためならず～社会保障を維持するために」をテーマに、日本経済新聞社生活経済部編集委員の山口聡氏が講演した。

山口氏は「みんなが幸せに暮らしていくためには、社会保障制度は必要不可欠な仕組みであり、それを維持していくには消費税等、国民の負担増はやむをえない」と、医療・介護・年金制度の現状や海外との比較などを通して説明した。また、「わたしたちが負担増を納得するためには徹底した情報開示、医療界・介護界の自助努力が必要である」と述べ、「情けは人の為ならず、人は一人だけでは幸せになれない！周りの人もできる限り幸せになってもらい、自分も幸せになる！社会保障はそういう道具であり、負担は必ず自らに返ってくる」と訴えた。

最後に、宮下登詩子副代表が閉会挨拶し、終了した。

今回は「保育室」を設けたこともあり、若い世代の方の参加も見られた。参加者からの感想では「健康保険や年金制度のことを詳しく聞けて良かった」、「公的年金は減ることはあっても破綻することはないとの説明にすごく安心した」、「難しいと思いがちな社会保障制度をわかりやすく話され、よく理解できた」、「ただ反対だけではダメなんですね。見方が変わりました」等が出された。

県消団連事務局　加藤喜美子

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク
アジア・アフリカ支援米発送式

食とみどり、水を守るいしかわネットワークは３月16日(月)「アジア・アフリカ支援米発送式」を開催。昨年12月11日に続き、２回目となる「発送式」は午前12時30分よりフレンドパーク石川の１階ホールで行われ、構成組織組合員や食・緑・水ネットの各幹事など、約30名が出席。冒頭、上田弘志代表が、日頃の活動に対する感謝の挨拶。顧問代理の奥田建民主党石川県第１区総支部代表と山本由起子金沢市議会議員が、ボランティア精神の大切さなどを訴えた。

山本康晴事務局長が「発送するお米は、前回アフリカのマリ共和国へ630kg、今回カンボジアへ1,290kg発送」と報告。耕作者を代表し山本英一氏が挨拶した後、お米はトラックに積み込まれ東京へ向けて出発した。

中部労福協第1回代表者会議
1年間の総括と活動補強
難病遠位型ミオパチー代表に署名を手渡す

「中部労福協第１回代表者会議」が２月17日(火)、滋賀県守山市のライズヴィル都賀山で、中部12府県から30名が出席し開催された。

昨年２月21日の「中部労福協第39回定期総会」で、2008～2009年度の活動方針が決定されており、本年は中間年に当たり、１年間の総括と残る１年の活動補強を行った。

開会にあたり松林弘副会長(三重県)が挨拶し、議長に田中清道代表委員(滋賀県)が選出された。総会の冒頭、山田保夫会長(大阪府)が「日本はＧＤＰが35年ぶりに下落し、これまで経験したことのない経済状況にある。景気対策も十分でなく、貧困格差が拡大する中、新たな社会構築を果たすためには、地域の役割を発揮できる労福協運動がより重要となる」と挨拶した。

来賓の高橋均中央労福協事務局長、中村憲市連合滋賀会長、瀬古良勝滋賀県商工観光部長が祝辞を述べ、山本和彦事務局長(大阪府)が2008年度活動経過報告及び会計決算報告、吉田哲夫監事(福井県)が会計監査報告を行い、それぞれ承認。2009年度活動方針の補強(案)並びに予算(案)が提案され満場一致で決定された。

次に、昨年、中部労福協が活動協力してきた、『遠位型ミオパチーを国に難病指定の認定を求める署名活動』の取り組みについて報告した後、急遽来場した辻美喜男遠位型ミオパチー患者会代表へ山田会長から各労福協で集約した署名を手渡した。辻氏より「身の周りから始めた活動の輪が、大きく広がった。額に汗した夏、冷たい風にさらされた冬の街頭、舛添厚労省大臣へ20万筆の署名・要望書提出など、わずか８ヶ月の署名活動で多くの方々と活動する喜びを感じた。私たちの苦しみと希望を理解し、賛同いただいた皆様のご厚情に改めて人の温かさを感じる事ができた。今後、皆様から頂いた心温まる100万筆強の署名を合わせ持ち、必ずや『遠位型ミオパチーの難病指定及び特定疾患の認定』が叶うよう、強く求めて行く」と述べ、さらに「『希少疾病の新薬開発を促進・支援する新たな制度の確立』を求め、各政党・国会議員や厚生労働省、製薬会社への請願活動を精力的に行う」と感謝と決意を述べ、会場より大きな拍手を受けた。

2009年度役員を才田巖副会長(石川県)が提案、確認し、最後に才田副会長の閉会挨拶で代表者会議を終了した。なお、石川県の代表委員として綿征一常務理事が出席した。

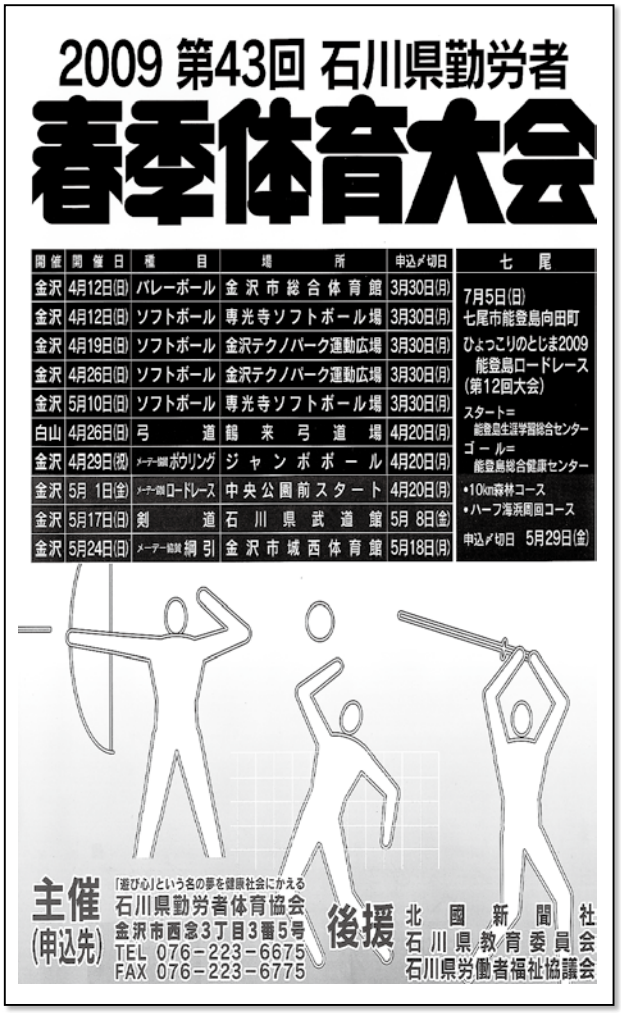
山田保夫会長

休憩後、「『食とエネルギーの地産地消』菜の花プロジェクトは地域と地球を救う」と題し、滋賀県環境生活協同組合の藤井絢子理事長が記念講演した。

藤井氏は、琵琶湖再生を目指した「せっけん運動」をスタートさせた後、水環境のみならず農・エネルギーの地域自立のため立ち上げた「菜の花プロジェクト」を資源環境の21世紀型産業社会のビジョンとしてプロジェクトの可能性を詳しく説明した。

記念講演の藤井理事長

辻代表に山田会長が署名を手渡す



2009 第43回 石川県勤労者
春季体育大会

開催	開催日	種目	場所	申込〆切日
金沢	4月12日(日)	バレーボール	金沢市総合体育館	3月30日(月)
金沢	4月12日(日)	ソフトボール	専光寺ソフトボール場	3月30日(月)
金沢	4月19日(日)	ソフトボール	金沢テクノパーク運動広場	3月30日(月)
金沢	4月26日(日)	ソフトボール	金沢テクノパーク運動広場	3月30日(月)
金沢	5月10日(日)	ソフトボール	専光寺ソフトボール場	3月30日(月)
白山	4月26日(日)	弓道	鶴来弓道場	4月20日(月)
金沢	4月29日(祝)	メーデー関 ボウリング	ジャンボボール	4月20日(月)
金沢	5月 1日(金)	メーデー関 ロードレース	中央公園前スタート	4月20日(月)
金沢	5月17日(日)	剣道	石川県武道館	5月 8日(金)
金沢	5月24日(日)	メーデー前夜祭 綱引	金沢市城西体育館	5月18日(月)

七尾
7月5日(日)
七尾市能登島向田町
ひょっこりのとじま2009
能登島ロードレース
(第12回大会)
スタート＝
能登島生涯学習総合センター
ゴール＝
能登島総合健康センター
・10km森林コース
・ハーフ海浜周回コース
申込〆切日 5月29日(金)

主催(申込先)
「遊び心」という名の夢を健康社会にかえる
石川県勤労者体育協会
金沢市西念3丁目3番5号
TEL 076-223-6675
FAX 076-223-6775

後援
北國新聞社
石川県教育委員会
石川県労働者福祉協議会

勤体協主催

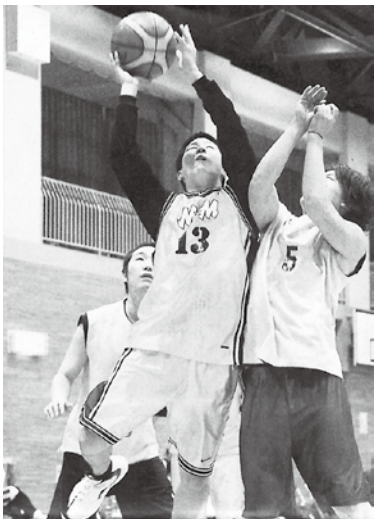
第43回冬季体育大会

各種目に多数参加。熱戦を展開

石川県勤労者体育協会主催「第43回冬季体育大会」は、中・終盤の種目が開催された。

「バスケットボール大会」は、2月22日(白山市若宮公園体育館)の男子３組の決勝でヤンチャーズがＯＶＥＲ30Ｓを54－45、３月１日(いしかわ総合スポーツセンター)の男子４組の決勝で珠洲クラブがＣｈｏｐｐｅｒ・Ｚを63－34、３月22日(いしかわ総合スポーツセンター)の男子５組の決勝でＭｏｃｃｏｒｙＳがＮＥＣソフトウエアを42－25、３月29日(金沢市営中央市民体育館)の男子６組の決勝でＭ☆Ｍが津田駒工業を65－21で下しそれぞれ優勝した。３月22日(いしかわ総合スポーツセンター)の女子２組の決勝でＣＨＯＣＯＬＡＴＳが田鶴浜クラブを29－22、女子３組決勝でＫ★ＯＲＡＮＧＥがＲＢＥを40-16で下してそれぞれ優勝した。

「ソフトバレーボール大会」は３月１日、金沢市総合体育館で過去最多の122チームがフリー(年齢自由)、35歳以上、45歳以上、55歳以上の４部門に分かれて熱戦を展開した。



「バドミントン大会」は3月15日、白山市若宮体育館で55チームが３部門に分かれて熱戦を繰り広げ、男子はコマツ南部クラブＡ、女子は飛翔会、混合は勤体協サークルがそれぞれ優勝した。

「卓球(３人３ダブルス)大会」は３月15日、金沢市市営中央市民体育館で硬式、ラージの部に過去最多の147チームが出場して熱戦を繰り広げた。

第43回県勤労者冬季バスケットボール大会

◇男子３組▽予選Ａ　①ヤンチャーズ②ＫＢＣ③ＭＯＢＺ④パンケット⑤ＮＯ・ＳＣＡＲＹ⑥ＫＯＭＡＴＳＵ・ＡＢ⑦もふてい▽予選Ｂ　①ＯＶＥＲ30Ｓ②ＤＩＣＥ③村田製作所④東レ石川⑤ペヒモステーキ⑥ｎｏｉＺｅ⑦Ｗｉｚ▽３位決定戦　ＫＢＣ53－39ＤＩＣＥ▽決勝　ヤンチャーズ54－45ＯＶＥＲ30Ｓ

【男子４組】▽予選Ａ　①Ｃｈｏｐｐｅｒ・Ｚ②ＣＯＯＬＳ③ＴＳ・ＹＡＭＡＴＯ④Ｍ・ＳＮＯＷＳ⑤オヤシファイブ⑥セルフィシュ⑦Ｐキーズ▽予選Ｂ　①珠洲クラブ②ＷＡＶＥ・ＭＯＴＩＯＮ③三和ＭＡＲＩＣ④ＤＩＳＣＯＶＥＲＹ⑤ＴＢａｃｋｓ⑥チームコウエイ⑦レプリカ▽３位決定戦　ＣＯＯＬＳ42－39ＷＡＶＥ・ＭＯＴＩＯＮ▽決勝　珠洲クラブ63－34Ｃｈｏｐｐｅｒ・Ｚ

【男子５組】▽予選Ａ　①ＮＥＣソフトウエア北陸②ＧＦＥ③伸晃ＷＡＶＥＳ、ＲＡＶＥ⑤ウッウッウッファイアー⑥アンビシャス⑦インフィニティー▽Ｂ　①Ｍｏｃｃｏｒｙｓ②ＡＧＲＩ③Ｂｒｕｄａ④プリーズ⑤ＲＵＮＲＵＮＲＵＮ⑥ＭＡＳＳ⑦ＴＢＣ▽３位決定戦　ＡＧＲＩ48－41ＧＦＥ▽決勝　Ｍｏｃｃｏｒｙｓ42－25ＮＥＣソフトウエア北陸

◇男子６組▽予選Ａ　①津田駒工業②ＦＩＶＥＳＴＡＲ③ハンドリング部④能登ガウ

第43回県勤労者冬季ソフトバレーボール大会

◇フリー▽Ａ　①内灘ＳＶ愛好会Ａ②イーストパープルＢ③辰口中部ＳＶＣ・Ａ▽Ｂ　①クラブリベロＡ②森山ＳＶＣ③フレンドリークラブＢ▽Ｃ　①金沢ＥＦＳ・Ａ②ＴＳＵＮＡＭＩ③フレンドリー

ショボーラーズ⑤ＫＹ中能登⑥Ｋ２⑦ＩＩ－Ｂｉｒｄｓ▽予選Ｂ　①Ｍ☆Ｍ②高尾台クラブ③ＤＯＭ④ド変隊⑤ＲＥＤＲＩＢＢＯＮ５６７⑥ＩＴＵＲＯ－⑦えちごや▽３位決定戦　ＦＩＶＥＳＴＡＲ42－30高尾台クラブ▽決勝　Ｍ☆Ｍ65－21津田駒工業

【女子２組】▽予選①ＣＨＯＣＯＬＡＴＳ②田鶴浜クラブ③ＷＡＶＥＭＯＴＩＯＮ④ＢＲＡＴＺ⑤三和ＭＡＲＩＣ⑥アンビシャス▽３位決定戦　ＢＲＡＴＺ43－27ＷＡＶＥＭＯＴＩＯＮ▽決勝　ＣＨＯＣＯＬＡＴＳ29－22田鶴浜クラブ

【女子３組】▽予選　①Ｋ★ＯＲＡＮＧＥ②ＲＢＣ③ヤンチャーズ④ＮＥＣソフトウエア北陸⑤工大☆Ｇｉｒｌｓ⑥レクサス▽３位決定戦　ヤンチャーズ34－15ＮＥＣソフトウエア北陸▽決勝　Ｋ★ＯＲＡＮＧＥ40－16ＲＢＣ

クラブＡ▽Ｄ　①東陵インフィニティＡ②ＵＭＡクラブＢ③アンフェアＡ▽Ｅ　①ＰＨＯＥＮＩＸ②イーストパープルＣ③ＫＶＣ▽Ｆ　①待津エンジェルス②小坂ＳＶＣ③ＬＡＰＩＡ

◇35歳以上▽Ａ　①ゆめまる②新神田ＳＶＣ③チーム！！シルバー▽Ｂ　①スタークラブ②まってらすとりいむ③森山ＳＶＣ▽Ｃ　①金沢ＥＦＳ・Ｂ②ＳＶＣクアトロ③さいがわＰ＆Ｍ▽Ｄ　①ドリフターズ②やすはらＳＶＣ・Ｃ③余喜ＳＶＣ・Ａ

◇45歳以上▽Ａ　①伏見台ソフトバレー部Ａ②ＦＩＲＥ・ＣＲＯＳＳ石川Ａ③さいがわＰ＆Ｍ▽Ｂ　①スタークラブ②伏見台ソフトバレー部Ｂ③ＥＢＢＡ－Ｂ

◇55歳以上▽Ａ　①スタークラブ②しらみね③森山ＳＶＣ▽Ｂ　①ゆめまるＢ②カサブランカ③ＦＩＲＥ・ＣＲＯＳＳ石川Ｂ

第43回県勤労者冬季バドミントン大会

◇男子決勝トーナメント１回戦　フォーティーフォー２－１パドばぁずＡ、コマツ南部クラブＡ２－０Ｐａｎｄｏｒａ、ＫＢＣ２－０パドばぁずＳ、ドリーム大吟醸２－０ｒｈｙｔｈｍＡ▽準決勝　コマツ南部クラブＡ２－１フォーティーフォー、ＫＢＣ２－１ドリーム大吟醸▽決勝　コマツ南部クラブＡ２－０ＫＢＣ

◇女子決勝トーナメント▽準決勝　すみれクラブ２－１津幡クラブ、飛翔会２－０鶴来クラブ▽決勝　飛翔会２－１すみれクラブ

◇混合決勝トーナメント▽１回戦　勤体協サークル２－０ラウスマッシュ・サムライ、瓢友クラブＡ２－０瓢友クラブＢ、額バード２－０シャイン・カメリア、ラウスマッシュ・ジャパン２－１ちよの・はる▽準決勝　勤体協サークル２－１瓢友クラブＡ、額バード２－０ラウスマッシュ・ジャパン▽決勝　勤体協サークル２－１額バード

第43回県勤労者冬季卓球(３人３ダブルス)大会

【硬式】◇一般男子▽１位グループ①ＹｕＳｔｙｌｅＡ②档の会Ｂ③档の会Ａ▽２位グループ　①木曜会Ａ②カワタク③米泉ク▽３位グループ　①宝町クＡ②宝町クＢ③白山ＭＴＣ

◇一般女子▽１位グループ①ＮＯＴＯヤンキース花②西南部クＡ③勤体協Ａ▽２位グループ①ＳＰＫ星②金沢ドリーム③小松卓協Ａ▽３位グループ①薬崎公民館②小松卓協Ｂ③米泉クＢ▽４位グループ①カトレア②国府ク③小松コスモス

◇女子▽ゴールド　①ネクサス②ピンポンレディースＡ③カトレアパール

【ラージ】◇男子▽シルバー　①なおク②能美ク③大浦公民館Ａ▽ゴールド　①金沢兼六クＢ②金沢兼六クＡ③なおク、能美クＡ

◇女子▽シルバー　①内灘クＡ②なおク③能美ク▽ゴールド　①能美クＡ②七尾スターズ③零路クＡ、白山ク

地域ライフ・サポートセンターだより

羽　昨

羽昨地域ライフ・サポートセンターは、羽昨市に対し勤労者・退職者等の声を「要望書」にまとめ提出した。
その他、「囲碁大会」と「チャリティーボウリング大会」を実施した。
羽昨地域LSC事務局長　上田清春

自治体要望等

昨年、11月28日の「要望書」提出には、浅野俊二羽昨市議が帯同。当LSCは毎年、市に対し要望書を提出してきたが、今年度も、これまで実現しなかった項目に新しい要望事項を加え取りまとめた。

また、11月30日には、市議会会派市民フォーラムと共催で羽昨公民館で「新市長との市政懇談会」を開催。参加した市民ら約40名からは選挙公約の実現、市への要望等、多数の意見が出された。

さらに、今年、1月15日午後3時より羽昨市役所の会議室で要望書に対する「懇談会」を開催。LSC会長以下11名と市議会会派市民フォーラムの議員が参加。山辺芳宣市長が挨拶の後、各担当課長が要望書に対する回答を述べ、LSC役員が質問した。当日の討議を踏まえ、市より文書回答を提出することを確認し、約2時間の懇談会を終えた。

なお、1月末に羽昨市からの文書回答を受理した。

囲碁大会

2月1日(日)、羽昨労館での「囲碁大会」は、参加者が少なかったものの、ろうきん友の会を中心として毎週開かれる「囲碁の会」の成果を発揮、熱戦が繰り広げられた。

囲碁の会も高齢化が進み、若い人の参加が少ないのが悩み。会員増を望んでいる。

《成　績》
優勝　東渡　由彦
2位　片山　三郎
3位　永島　清剛

チャリティーボウリング大会

2月28日(土)午前10時30分よりクアトロブーム鹿島で開催した「チャリティーボウリング大会」は、土曜日開催とし、親子でも参加できるように変更、個人戦のみで行った。初めての試みであり、参加者が集まるか心配されたが、9組の親子を含む45名が参加、熱戦を繰り広げた。

開催場所が遠くなった為か、参加組合に少し偏りが見られたが、久しぶりに子供達のうれしそうな顔を見ることができた。今後とも親子でふれあう行事を企画したい。

《成　績》
☆大人の部
優勝　森田　正秀(県教組)
2位　織田志津子(福井鉄螺)
3位　森田　史江(県教組)
☆子供の部
優勝　森田　悠太
2位　橋詰　舜太
3位　井田　美穂

七尾・鹿島

第6回ふれあいボウリング大会
92名の参加者で満杯状態

七尾･鹿島ＬＳＣは2月14日(土)、クアトロブーム鹿島で「第6回ふれあいボウリング大会」を開催した。

これまでの大会は、初心者と上級者のレベル差が大きかったため、今大会では、地域や世代を超えた交流の場を提供する目的で、上級者にはマイボールの使用を遠慮いただいた。そのため、スコアが均衡し大接戦となった。

当大会は、毎年多くの選手が参加、本年も子供からお年寄りまで幅広い年齢の方々92名の参加者で全レーンが満杯状態となり、賑やかな冬の一日を過ごした。

七鹿LSC事務局長　井田孝之

＜大人の部＞

優勝	佐藤　勝	(JP労組)	361
2位	木村　厚子	(一般)	354
3位	小川　勝雄	(一般)	351

＜子供の部＞

優勝	一花　将志	232
2位	白山龍太郎	192
3位	高山　彩里	183

金　沢

「責任世代の保証セミナー」
全労済石川の長山部長が講師

2月20日(金)、金沢LSC労済部会は40才～50才代を対象に「豊かなセカンドライフのための保険・保障の見直し」と題し、全労済石川県本部から長山良治事業推進部長を講師に迎えセミナーを開催した。

今回のセミナーは、保険契約の保障内容や収入と保険料のバランスが適当であるか？過度の契約をしていないか？などを参加者に問いかけ、今日から自分を含め職場でも点検を促す活動を目的とするもので、長山講師からは、退職までに一定時間のある今が「見直しのチャンスだ」「なにげなく加入した掛け金総額などを見つめ直そう」と訴え、26名の参加者は頷きながら納得する姿が見られた。

全労済では、「保障設計運動」を行っており、是非ご相談を！

金沢地域LSC事務局長　谷内英明

内灘「フォーラム」

内灘町勤労者協議会主催の「第8回フォーラム内灘」は”安心して暮らせる町をめざして！”をテーマに3月8日(日)午後2時より内灘町役場町民ホールで開催された。

フォーラムでは、八十出泰成町長と白帆台保育園の木村留美子理事長が子育て支援について、町の施策や今後の課題を話し合い、参加住民70名が子育て支援のあり方について意見交換した。

その他、石倉チヨッキさんの麻生太郎首相に扮するコント等で参加者は楽しんだ。

河北地域ＬＳＣ事務局　安江秀和